

デジタルと対話で市民の声を活かす共創の仕組み

～「シビックとよおか」と「ちいき×エール」～

市では「人と地域に寄り添う市政」の実現に向け、より多様な市民の皆さんの声や思いを市政運営に活かすため、デジタルを活用した市民参加型合意形成プラットフォーム「シビックとよおか」を導入する。また、デジタルが苦手な方にもご参加いただけるワークショップ型の対話の場「ちいき（※）× エール」も開催する。

※「ちいき」部分は、開催場所やテーマによって変更する。

1 人と地域に寄り添う市政の推進の概要

これまで、パブリックコメントや審議会などでは、事業に関心の高い方、関係団体、地域の代表者などの意見が中心で、より広い意見聴取に課題があった。

今回導入するデジタルプラットフォーム「シビックとよおか」は、立場や場所、時間にとらわれず、市の課題・施策に対して意見を投稿・発言し対話できるオンラインウェブサイトである。さらに、ワークショップ型の対話の場「ちいき×エール」と組み合わせ、デジタルとリアル（対話）の両輪で広聴に取り組む。

これらを新しい市民共創の仕組みの第一歩と位置づけ運用し、あまねく市民の声を活かした、より満足度の高い施策の立案や行政サービスの提供を目指す。

2 市民参加型合意形成プラットフォームの概要

(1) 名称

「シビックとよおか」

(2) 利用の開始

2025 年 11 月 4 日（火）

(3) URL

<https://toyooka-city.liqlid.jp/>

(4) 意見を募集するテーマ

まずは、今年度策定する第3期地方創生総合戦略に関して意見を募集する。

意見募集の問いは次のとおり。

問1 | 豊岡に関すること（もの）で『惜しいな、もう少し頑張っ
て良くしたいな良くできるのにな』と思うこと（もの）は
なんですか？

問2 | 世界の人に知ってほしい、豊岡のいいところは？

問3 | 市役所が気づいていない（知らない）だろう、豊岡のいいところは？

※市では、今後も市民の皆さんに意見をいただきたい地域課題などについて
「シビックとよおか」で随時意見を募集し、市政運営に活かす。



3 対話の場「ちいき×エール」の開催

ワークショップ型の対話の場「ちいき×エール」を開催する。地域で活躍する市民プレゼンターと市職員プレゼンターが、それぞれの持つ地域課題を共有し、参加者とのワークショップで意見やアドバイスを受ける。

今年度は但東地域と日高地域での開催を予定しており、日程、テーマが決まり次第、市広報やSNSなどで周知を行う。

〔問合せ〕市長公室DX・行財政改革推進課 TEL0796-21-9146(直通)

担当 伊崎（内線 2045）